



基安安発 1114 第 2 号
平成 25 年 11 月 14 日

公益社団法人全日本トラック協会会長 殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部安全課長

陸上貨物運送事業における労働災害防止の徹底について（要請）

労働災害の防止に向けた各種施策の推進につきましては、日頃より御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、近年における労働災害の発生状況につきましては、平成 21 年までは長期的に減少傾向が続いてきたものの、平成 22 年以降は 3 年連続で休業 4 日以上之死傷災害が増加しております。

平成 25 年（10 月末現在の速報値）につきましては、災害発生件数が多い第三次産業や製造業において前年同期を下回っているため全産業の死傷災害は減少しておりますが、陸上貨物運送事業では増加（平成 24 年：10,310 件→平成 25 年：10,560 件：2.4%増）している状況にあります。このままの傾向が続くと、陸上貨物運送事業においては、死傷災害が 4 年連続増加という極めて憂慮すべき事態になることが懸念されます。

また、国土交通省が公表しているトラック輸送情報等の指標を見ますと、本年の貨物輸送量は昨年を上回って推移しており、今後も貨物輸送量の増加が見込まれています。

貨物輸送量が増えることは、我が国の経済活動が活発になっていることを表すものですが、一般に経済活動が活発になると労働災害が増加する傾向にあることから、労働災害防止対策の更なる徹底が必要になります。

このような状況を踏まえ、貴協会におかれましては、第 53 回正しい運転・明るい輸送運動を展開されますので、この機会に合わせて、下記の労働災害防止対策の徹底に取り組んでくださいますようお願いいたします。

記

- 1 「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」（平成 25 年 3 月 25 日付け基発 0325 第 2 号別添）に基づく対策の実施
- 2 「交通労働災害防止のためのガイドライン」（平成 25 年 5 月 28 日付け基発 0528 第 3 号参考 1）に基づく対策の実施
- 3 年末・年始の業務繁忙期における無理な計画に基づく作業の排除
- 4 冬期における積雪、凍結による転倒災害、交通労働災害等の防止対策の実施

業種別労働災害の推移

	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年		平成25年	
	死傷(人)	死亡(人)	死傷(人)	死亡(人)	死傷(人)	死亡(人)	死傷(人)	死亡(人)	死傷(人)	死亡(人)
製造業	27,995	185	28,643	211	28,457	182	28,291	192	19,939	155
鉱業	231	9	218	5	216	11	197	6	175	6
建設業	16,268	367	16,143	363	16,773	342	17,073	368	12,706	255
陸上貨物運送事業	13,233	123	13,815	148	13,820	129	13,834	134	10,560	69
港湾荷役業	307	11	353	5	363	10	344	5	239	6
林業	2,306	43	2,363	59	2,219	38	1,897	38	1,333	30
その他	53,812	332	55,198	389	56,110	312	57,940	341	41,201	213
合計	114,152	1,070	116,733	1,180	117,958	1,024	119,576	1,084	86,153	734

※ 資料出所:労働者死傷病報告

※ 平成23年については、東日本大震災を直接の原因とする死傷者を除いた数。

※ 平成25年については、10月末現在の速報値。

(参考)各年10月末現在での対前年比較

	平成24年		平成25年	
	死傷(人)	死亡(人)	死傷(人)	死亡(人)
製造業	21,322	145	19,939	155
鉱業	156	5	175	6
建設業	12,745	284	12,706	255
陸上貨物運送事業	10,310	108	10,560	69
港湾荷役業	272	5	239	6
林業	1,505	32	1,333	30
その他	42,010	224	41,201	213
合計	88,320	803	86,153	734

※ 資料出所:労働者死傷病報告

○ 平成22年から24年までの3年間に、連続して労働災害が増加した主要業種は、「建設業」、「陸上貨物運送事業」、「その他(第三次産業が中心)」となっています。

○ 3業種について平成25年の状況をみると、10月末現在の速報値で、
 ・建設業 → 0.3%の減少
 ・陸上貨物運送事業 → 2.4%の増加
 ・その他 → 1.9%の減少

陸上貨物運送事業における事故の型別死傷災害発生件数の対前年比較(10月末現在速報値での比較)

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏抜き	高温・低温物との接触	有害物との接触	火災	交通事故・道路	交通事故・その他	動作の反動無理な動作	その他	左記以外	合計
平成24年	2,840	1,469	757	601	356	540	1,238	155	12	73	16	2	748	10	1,429	38	26	10,310
平成25年	3,021	1,527	762	608	341	519	1,252	174	19	89	27	3	760	7	1,404	29	18	10,560
増減	181	58	5	7	-15	-21	14	19	7	16	11	1	12	-3	-25	-9	-8	250

陸上貨物運送事業における起因物別死傷災害発生件数の対前年比較(10月末現在速報値での比較)

	木材加工用機械	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	人力機械工具等	用具	その他の装置・設備	仮設物・建築物・構築物等	危険物・有害物等	材料	荷	環境等	その他の起因物	左記以外	合計
平成24年	18	39	11	30	150	4,249	302	687	611	130	1,583	19	451	1,307	229	62	432	10,310
平成25年	22	28	13	46	169	4,480	282	654	646	124	1,535	32	467	1,324	276	71	391	10,560
増減	4	-11	2	16	19	231	-20	-33	35	-6	-48	13	16	17	47	9	-41	250